

2017年 2月 20日

各 位

株式会社 三井住友銀行
株式会社 日本総合研究所

個人のお客さま向け照会サービスを対象としたAPIの提供開始について

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「SMBC」）は、FinTech企業等との連携を通じた個人のお客さまへの新規サービス創出・拡大を目的として、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘、以下「日本総研」）と協働し、2017年7月を目途に、個人向けの残高照会や入出金明細等の照会サービスを対象としたAPI¹の提供を開始することといたしました。

本APIの活用により、提携先企業とSMBCが協働して、それぞれが保有する情報やサービスを組み合わせることで、お客さまに多様なサービスを提供することが可能²になります。

APIの利用に際しては、SMBCが提供する認証基盤（OAuth2.0に準拠）にてお客さまの認証を行います。また将来的には、SMBCの振込・振替サービス等のAPI提供や、SMFG各社のサービスとのAPI連携についても検討を進めてまいります。

なお、法人向けAPI接続サービス³は2017年春頃を目途にサービスの提供を開始します。株式会社マネーフォワードとの連携を皮切りに、今後も株式会社オービックビジネスコンサルティング、株式会社インフォーマット等のFinTech企業等との連携を順次開始します。

SMBCと日本総研は今後も、APIをはじめとする様々なFinTech関連技術やサービスをオープンに取り入れながら、より一層の商品・サービスの向上に取り組んでまいります。

（参考）提携先企業を通じたAPIの利用イメージ



¹ Application Programming Interface の略。あるアプリケーションの機能や管理するデータなどを他のアプリケーションから呼び出して利用するための接続仕様等のこと

² SMBC ダイレクト上で、お客さまが、提携先企業との情報提供について事前承諾を行うことが前提

³ 2016年10月17日「振込機能を含む法人向けAPI接続サービスの提供に向けた検討開始について」(SMBC)をご参照

<p>検討サービス (一例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家計簿アプリ等のPFMサービス⁴ ・ECサイト、電子マネーサイトと連携した残高照会サービス ・SMFGグループ各社との連携サービス ・SNS経由の残高照会サービス 等
<p>APIで提供する機能</p>	<p>以下の機能をAPIで提供する予定です。</p> <p><当初提供機能(2017年7月予定)></p> <p>普通口座残高照会 普通口座入出金明細照会 定期口座残高照会 Can口座残高照会 プレミアム円定期残高照会 ハイクーポン残高照会 外貨普通残高照会 外貨定期残高照会 外貨Can残高照会 債券残高照会 ポイント照会 住宅ローン残高照会</p> <p>APIの提供に先駆けて、2017年3月中旬を目途に、提供するAPIの詳細について、FinTech企業等、提携先企業に開示する予定です。</p>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提携先企業とSMBCが協働して、それぞれが保有する情報やサービスを組み合わせることで、お客さまに多様なサービスを提供することが可能になります。 ・お客さまは、提携先企業にSMBCダイレクトの契約者番号やパスワードを開示することなく提携先企業のサービスが利用可能となり、セキュリティレベルが向上します。

⁴ Personal Financial Management の略。銀行や証券、保険など複数の口座情報を集約し、資産や家計を一元的に情報提供するサービスやツールのこと